

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	常磐自動車道環境保全対策事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策課			
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	大島 尚文			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	常磐自動車道沿線自治会（市民）	意図	常磐自動車道周辺の大気及び騒音に係る環境の保全を図る。
事業内容	常磐自動車道監視測定局4局の監視測定機器を適正に管理して大気及び騒音の環境状況を測定し、常磐道環境委員会においてデータを公表し、必要に応じて環境保全対策を行う。沿線住民に良好な生活環境を提供する。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和56年に市と当時の道路公団が協定書を締結し、常磐自動車道環境委員会が発足した。常磐道は年々、交通量が増加し、それに伴い、大気汚染の値及び騒音の値も一時高くなったが、東日本高速道路㈱の改善対策や自動車の性能向上により、減少しつつある。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	市民への周知回数	10	10	10	回	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・各測定局に設置している、観測装置等が経年劣化し、機器の更新の必要が増し、常磐自動車道基金積立金との在り方の検討が必要。		
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	4,530,741	5,858,683	5,870,224
事業費(b)(円)	1,784,741	1,831,483	1,915,024
うち一般財源	1,784,741	1,831,483	1,915,024
職員給与費(c)(円)	2,746,000	4,027,200	3,955,200
人役・職員(人)	0.40	0.60	0.60
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	事務改善を行い経費の削減を図る。	③取組における課題(Check)	機器更新の時期。
②H30に実施した取組(Do)	事業の必要性や効率性について検証を行った。予算執行に当たっては経費の削減に努めた。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	更新計画の見直し。